

浅羽野中だより 「胡桃の木」

No.22

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」と身につけた生徒の育成～

令和6年1月10日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

令和6年の本校の教育活動がスタートいたしました。今年は元旦に能登半島地震という大きな災害がありました。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。災害はいつどこで起こるか分からないということを、改めて痛感いたしました。1日も早いライフラインの復旧と避難されている方々のご健康をお祈りいたします。

保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、冬休み中の子供たちへの様々なご対応等、ありがとうございました。お陰様で大きな事故やケガもなく、生徒たちは有意義な冬休みを過ごすことができたようです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

〔 3学期始業式 〕

約2週間の冬休みを終えて、充実した笑顔に満ちた生徒たちの姿が学校に戻ってきました。寒さ厳しい体育館での始業式では校歌合唱の後、3学期の抱負を学年代表生徒（3年生男子、2年生男子、1年生女子）の3名が発表しました。3人とも素晴らしい内容だったので、全員の言葉を紹介したいところですが、紙面の関係で3年生の言葉のみの紹介となります。日頃の生活の中で、大切にしなければいけないことに気づかせてくれる内容でした。

『今年の抱負』 3年男子

私の今年の抱負は、感謝です。中学校生活も残り3ヶ月で卒業を迎えます。私がこの3年間で成長できたのも、心から寄り添い、支えてくれた家族、友達、先生方のお陰です。私たち3年生は、受験を控えており、今は進路の事ばかりが気になって、あたかも自分ひとりの力で成長したかのような気で過ごしてしまうところがあります。そのため周りへの感謝を忘れてしまいがちです。それでも常に励ましてくれたのは、自分のそばにいる人たちでした。この親切に答えられるものこそ感謝です。何かしてもらったことに対して、感謝をし忘れてしまうと、相手は自分がしたことが余計だったのかと不安を感じることもありますし、何より「ありがとう」の一言だけでお互いとても良い気持ちになります。何かをされて、感謝する。そしたら今度は自分が何かをして感謝される。この繰り返しでより良い人間関係が形成されます。私たち人間は一人だけで生きていくのなんて不可能だから、この関係を大切にすべきだと私は考えます。当たり前という気持ちをもっていると、心から感謝を伝えるのは難しいので、私はこの1年間「おかげさまで」という気持ちを常にもって、感謝を伝えていく1年にしていこうと思います。

[学校教育推進状況アンケート結果]

2学期末にお願いしたアンケートの集計結果は、以下の通りとなりました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和5年度 「学校教育推進状況」アンケート（保護者アンケート）結果					
アンケート回収率 70%					
A: そう思う B: どちらかというと思う C: どちらかというと思わない D: そう思わない					
		A	B	C	D
1	学校教育目標<学び>「自ら学び、課題を解決し、自己表現をする」力が身についている。	25.7%	48.6%	18.9%	6.8%
2	学校教育目標<鍛え>「心身を鍛え、粘り強く努力する逞しさを身につける」力が身についている。	26.7%	44.9%	21.6%	6.8%
3	学校教育目標<思いやる>「互いを認め敬愛し、協働して生活する」力が身についている。	36.9%	54.5%	5.1%	3.4%
4	学校は、保護者会や学校だより等を通して、教育活動をわかりやすく伝えている。	47.2%	49.4%	2.3%	1.1%
5	学校は、地域・保護者への学校の教育活動を、学校だより、学年だより、ホームページ等で分かりやすく伝えている。	46.0%	47.2%	5.7%	1.1%
6	学校は、家庭と地域との連携に努め、生徒の育成に当たっている。	40.6%	50.3%	6.8%	2.3%
7	本校の教育活動は、生徒が力を発揮して、生き生きとした活動が展開されている。	37.1%	55.4%	4.6%	2.9%
8	学校は、生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせ、わかりやすい授業を展開している。	27.3%	56.3%	14.8%	1.6%
9	学校は、生徒のけがや病気に対して、適切に対応している。	51.8%	40.3%	4.5%	3.4%
10	学校は、いじめや非行等の早期発見、解決に積極的に取り組んでいる。	26.0%	61.3%	11.0%	1.7%

以上のような結果となりました。課題のある項目については、改善できるよう努力してまいります。特に1～3番の学校教育目標ですが、3年間の教育活動を通して達成できるよう全教職員で更なる取り組みを行ってまいります。8番に関してですが、教科担当は基礎基本の定着を図るための反復練習や单元ごとの小テスト、ICT機器を活用した小グループでの学び合い活動などを行っております。今後も全職員で、指導方法の工夫改善などの研修を通して、更によりわかりやすい授業を目指し、生徒の学力向上に向けて努力してまいります。10番は、日頃から生徒の実態を把握する努力を行いながら、学期に1回いじめアンケートを実施し、早期発見早期対応に取り組んでおります。今後ご家庭でお子さんの様子で気になることがございましたら、遠慮なく担任までご連絡ください。